

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1084	(H.24)No.	1084
-----------	------	-----------	------

事務事業名		環境対策一般経費			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
生活環境部		環境対策室		藤野 泰司	63-7492
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度 ~ 平成	年度	名張市快適環境基本条例	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2	美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし
	基本政策	1	良好な地域環境づくり
	施策	1	環境保全
	小施策	2	地域環境の保全
	重点施策コード		

2. 予算区分

会計区分	事業コード	253001
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	衛生費	環境対策費
項	保健衛生費	(小事業名)
目	環境対策費	環境対策一般経費

3. 事務事業の概要

事業概要	
<ul style="list-style-type: none"> 市内住宅団地のあき地の所有者に対し雑草の除去等、適正な管理を指導。 市内空き家の所有者に対し適正な管理を指導 工場・事業所への公害防止関係法令や公害防止協定の遵守についての啓発。 市民、事業所、行政全体でCO2消費量の削減や省エネルギーに取り組む。 	

めざす効果(事業目的)
<ul style="list-style-type: none"> 無駄なエネルギー消費を抑え、大気や河川などの広い範囲から地域などの身近な範囲まで良好な生活環境が保たれる。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)		平成24年度 (計画・作成時予算額)		現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]		[事業内容(事業量)・事業費]		市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	<ul style="list-style-type: none"> 快適環境審議会開催 1回 55千円 あき地の雑草対策代執行(委託料) 1件 29千円 大気水質調査 箇所延べ 44回 818千円 環境行事(物貸与等) 16回 		<ul style="list-style-type: none"> 快適環境審議会開催 3回 268千円 あき地の雑草対策代執行(委託料) 10件 525千円 交通騒音常時監視業務 1,854千円 検定手数料他 1,156千円 環境行事15回 42千円 		補助金・交付金	その他 ()	
					平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	平成27年度 (計画)
直接事業費	1,222千円	4,715千円	3,713千円	3,713千円	3,713千円	3,713千円	
財源内訳(千円)							
国庫支出金							
県支出金							
地方債							
その他()	24	548	748	748	748	748	
一般財源	(0)	1,198	4,167	2,965	2,965	2,965	2,965
人工数							
職員	1.81人	1.18人	1.81人	1.81人	1.81人	1.81人	
臨時職員等	0.60人	0.60人	0.60人	0.60人	0.60人	0.60人	
概算人件費	(0千円)	14,233千円	9,634千円	14,233千円	14,233千円	14,233千円	14,233千円
+ 総事業費	(0千円)	15,455千円	14,349千円	17,946千円	17,946千円	17,946千円	17,946千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	空き地苦情にかかる対応件数	件	-	-	-	-
	実績			938	1,389	1,343	848
成果指標	目標	日常生活で省資源・省エネルギーを心がけている市民の割合	%	-	-	-	96.0
	実績			93.1	90.7	90.3	90.3
成果指標	目標	BOD値 シャックリ川 町田橋 (年平均)	mg/l	-	-	-	2.7
	実績			3.0	2.3	1.9	1.9

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
あき地の苦情対応件数の減少。	更なる減少を目指して指導の強化を行いたい。

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
<ul style="list-style-type: none"> 環境行事の実施について行政主体から民間、地域主体に移行してきている。また、あき地・空き家の取組みについて、市民から尚一層の強い取組みを求められている。 三重県からの権限委譲による交通騒音常時監視業務の実施。 	あき地については行政代執行の更なる取組み行う。また、空き家の適正管理については条例の的確な運用を図りたい。

8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢 ・ の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	除草指導における地域との連携
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ある	環境保全等
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映済み	あき地・空き家対策等
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	あき地対策の地域との連携

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む)
継続(事務改善)
「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

特記事項